

HAW-SIBU 初期設定手順書

【本書について】

- 本書はHAW-SIBUの組み上げからアクティベーション、ライブモニタリングの確認までの手順を解説しています。
- 本書を理解していただくには、以下の知識が必要です。
 - ・Windows
 - ・ネットワーク(PoEを含みます。)
 - ・ネットワークカメラ
 - ・コーデック技術
 - ・電源
- 機器間の配線、設置については実行者の責任で実施してください。

【注意事項】

カメラの台数にもよりますが、キッティングには初期ライセンスの取得を含め数日かかります。余裕をもったのキッティングを推奨します。

目次

1. 検品	
1-1 HAW-SIBUの検品	3
1-2 HDDの検品	3
2. ライセンス申請	
2-1 ライセンス申請	4
3. HAW-SIBUの組立て	
3-1 ゴム足の取り付け	5
3-2 HDDの取り付け	6
3-3 機器の接続	9
4. 初期設定	
4-1 Windowsの初期設定	11
4-2 ページファイルウィザードの停止	13
4-3 キーボードレイアウトの変更	13
4-4 ネットワークの設定	15
4-5 モニターの設定	17
4-6 RAIDボリュームの作成	18
4-7 ファイルシステムの作成	21
4-8 言語設定と初期ライセンスファイルの登録	24
4-9 オプション設定	27
4-10 Device Pack のアップデート	29
4-11 レコーディングサーバーの開始	32
4-12 カメラ登録(自動登録)	33
4-13 カメラ登録(手動登録)	37
4-14 アーカイブへの移動間隔設定	39
4-15 カメラ毎の詳細設定	40
4-16 新規ユーザーの作成	44
4-17 アクティベーション	46
4-18 Smart Clientのビュー作成	49
5. クライアントとの接続	
5-1 外部のSmart Clientからのモニタリング	53

1. 検品

1-1 HAW-SIBUの検品

本体および付属品を箱から取り出し、検品をします。

- ・本体に傷、汚れなどがないか。
- ・付属品に欠品がないか。

【HAW-Sのコンポーネント】

- ・HAW-SIBU(本体) (1)
- ・安全のために(冊子) (1)
- ・取扱説明書ダウンロードサイトのご案内 (1)
- ・HDDカバー(フロントカバー)用鍵 (2)
- ・HDD用ネジ (40) (1HDDにつき4本使用)
- ・ゴム足 (4)
- ・電源コード (1)
- ・電源コードについてのお知らせ (1)
- ・保証書(冊子) (1)

1-2 HDDの検品

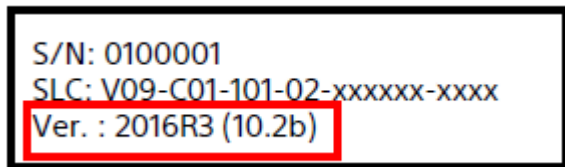
HDDの個数を確認し、1台ずつ箱から取り出し検品します。

本体やHDDの不備や付属品の欠品がある場合には、販売店または担当営業にご連絡ください。

2. ライセンス申請

2-1 ライセンス申請

①本機背面のシリアルナンバー、SLCコード、Softwareバージョンを確認する



②インターネットに接続されたPCを用意します。WEBブラウザで次のURLを開きます。

<http://www.sony.jp/snc>

③右下にある「HAW/SOWライセンス登録」のバナーをクリックします。



④表示されたページの内容に従って「HAW-S / SOW-Sライセンス申請」を行ってください。NVR本体(HAW-SIBU)だけでなく、追加カメラライセンス(HAWA-SI16等)を購入している場合、ライセンス証書の「オーソライゼーションコード」をここで入力します。



⑤後日、メールにて初期ライセンスファイルが届きます。

例)

V09-E02-102-02-XXXXXX-XXXX.lic

初期ライセンスファイルは大切に保管してください。

3. HAW-SIBUの組立て

3-1 ゴム足の取り付け

本体の底面に滑り止めのゴム足を取り付けます。

ゴム足はシールになっています。ラックマウントする場合には取り付けません。



写真のようにゴム足の取り付け位置
がわかるように丸印が付いています。

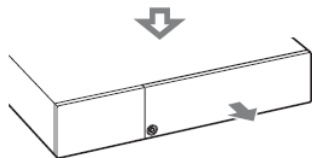
3-2 HDDの取り付け HDDを本体に組み込みます。

①HDDカバーの取り外し

前面のHDDカバーのカギを開けます。(初期は開いています。)



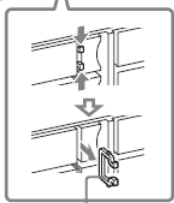
左へ90度で「開」状態です。



最初に右にカバーをずらし、手前に引くようにして取り外します。

②HDDロックの取り外し

HDDを挿入する分のHDDロックを外します。**取り付けるHDDはスロット1から順に挿入します。**HDDロックは使用するスロットのみ外してください。



HDD lock

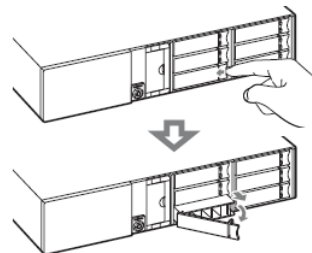
つまみをつまんで手前に引きます。

【HDDのスロットNo】

1	2
3	4
5	6

③HDDトレイの取り出し

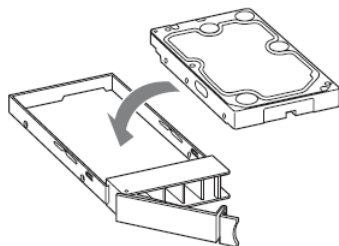
HDDトレイのつまみを左へ押しながら手前に引き、そのまま引き出します。



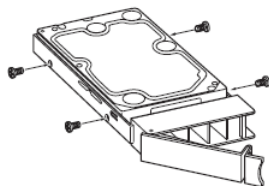
- ④HDDトレイにHDDをネジ留め
引き出したHDDトレイの固定板を外します。



HDDトレイを軽く手で広げると、簡単に固定板は外せます。

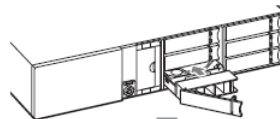


HDDトレイの後ろの窪みとHDDのインターフェース部分を合わせて、入れ込みます。

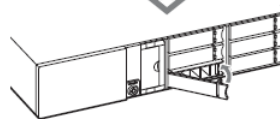


HDDトレイとHDDのネジ穴を合わせます。
HDDトレイとHDDを付属のネジで片側2本ずつ、4本でしっかりネジ留めします。

- ⑤HDDの本体へ組み込む
HDDトレイに留めたHDDを本体に挿入します。



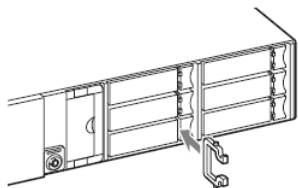
HDDトレイを本体内部のレールに合わせ、挿入します。



HDDトレイを奥までいれたら、レバーをカチッと鳴るように閉めます。

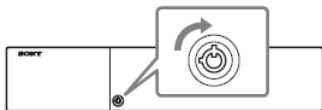
⑥HDDロックを付ける

HDDトレイを閉めたあと、HDDロックを付けます。



⑦HDDカバーを施錠する

HDDカバーをして、施錠します。

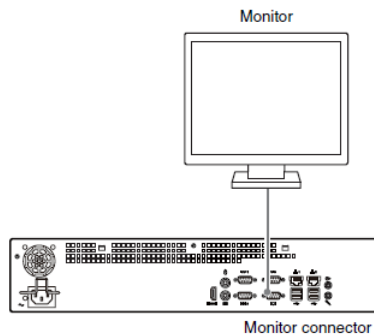


3-3 機器の接続

本体にモニタ、マウス、キーボード、ネットワークの接続をします。

① モニター

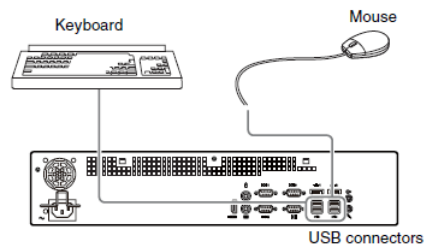
HAW-Sはモニターインターフェースとして、D-SUBとHDMIを持っています。モニター1台のときは、どちらを使用してもかまいません。



【D-SUB接続例】

② マウス、キーボード

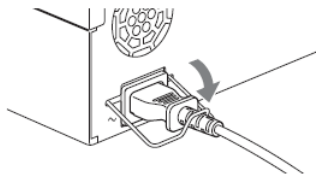
マウスとキーボードはUSBまたはPS/2で接続します。マウスとキーボードは付属していません。事前にマウスとキーボードをご用意ください。



【USB接続例】

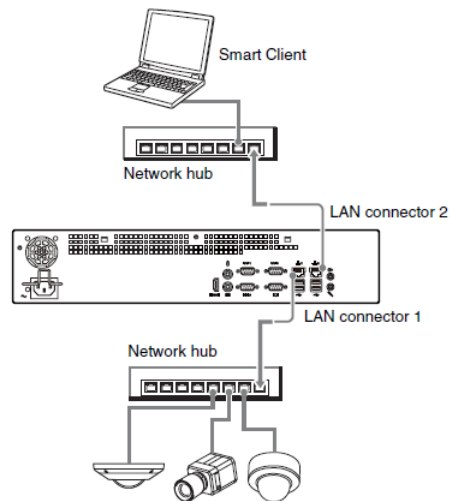
③電源コード

電源コードは必ず付属の電源コードをご使用ください。
接続後は抜け防止をしてください。



④ネットワーク

ネットワークを接続します。LANセグメントを1つだけ使用する場合はLAN1を使用してください。



【LAN1とLAN2を使用した接続例】

4. 初期設定

4-1 Windowsの初期設定

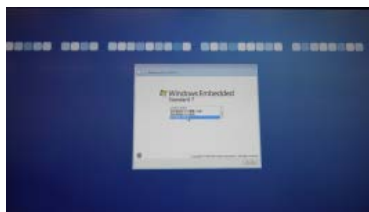
HAW-Sの電源を入れると、Windowsの初期設定が始まります。通常のWindowsの初期設定と変わりません。Windowsのウィザードに従って設定していきます。ご使用する環境に合わせて設定してください。

①電源投入

本体正面の電源スイッチをオンします。初回起動には5分程時間がかかります。

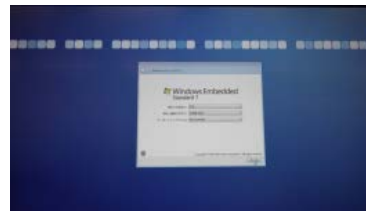
②言語設定

言語の選択で「私の言語: 日本語」を選び、「次へ」をクリックします。



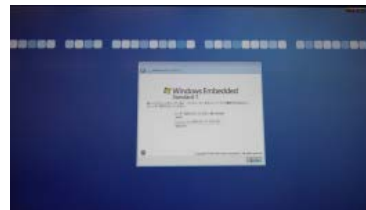
③国/地域、キーボードタイプの設定

国または地域に「日本」、時刻と通貨の形式に「日本語 (日本)」、キーボードレイアウトに「Microsoft IME」を選び、「次へ」をクリックします。



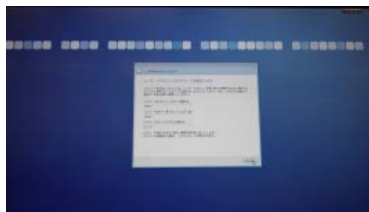
④ユーザー名とコンピューター名の設定

管理者のユーザー名とコンピューター名を入力し、「次へ」をクリックします。



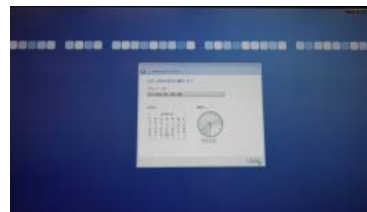
⑤パスワードの設定

管理者のパスワードとパスワードのヒントを入力し、「次へ」をクリックします。



⑦日付、時刻の設定

タイムゾーンに「(UTC+09:00)大阪、札幌、東京」を選び、日付・時刻を調整し、「次へ」をクリック。



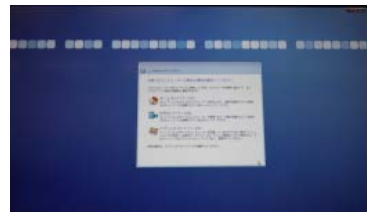
⑥EULAの同意

EULA同意のチェックボックス2か所をチェックし、「次へ」をクリックします。



⑧ネットワークの設定

ネットワークを接続している場合、ネットワークの選択画面が表示されます。「パブリックネットワーク」をクリックします。



⑨Windowsの設定後

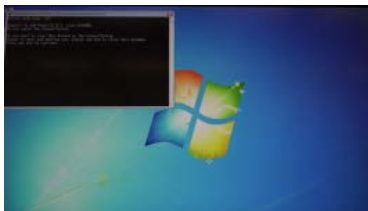
Windowsの設定が終わると、再起動がかかります。再起動には5分程度かかります。

起動すると「初めてコンピュータを使う準備をしています。」と表示され、OSの再構成がかかります。

4-2 ページファイルウィザードの停止

Windowsの初期起動時にページファイルウィザードが自動起動します。このページファイルウィザードは使用しないので、今後起動しないように設定します。

下記画面のコマンドプロンプトが「Do you want to stop this Wizard in the future?(y/n)」の質問に「y」を入力して、ウィザードを止めます。



※2017R2では表示されません。

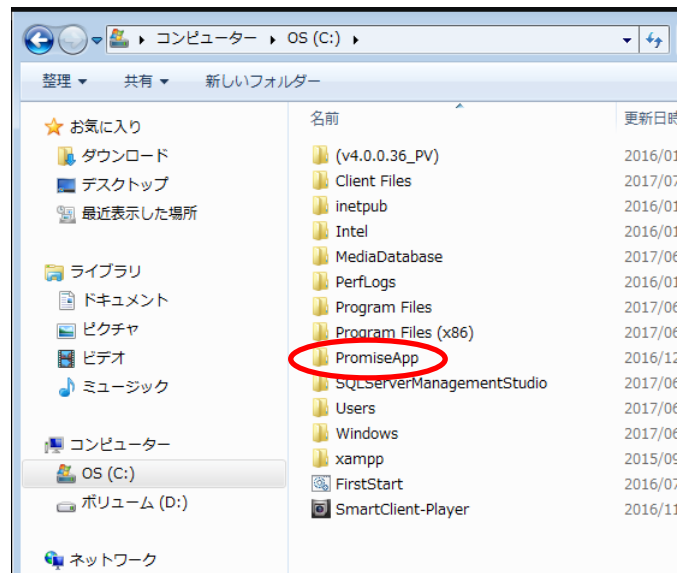
4-3 キーボードレイアウトの変更

日本語キーボード(106/109キーボード)を使用している場合、用意されているバッチファイルを起動してください。

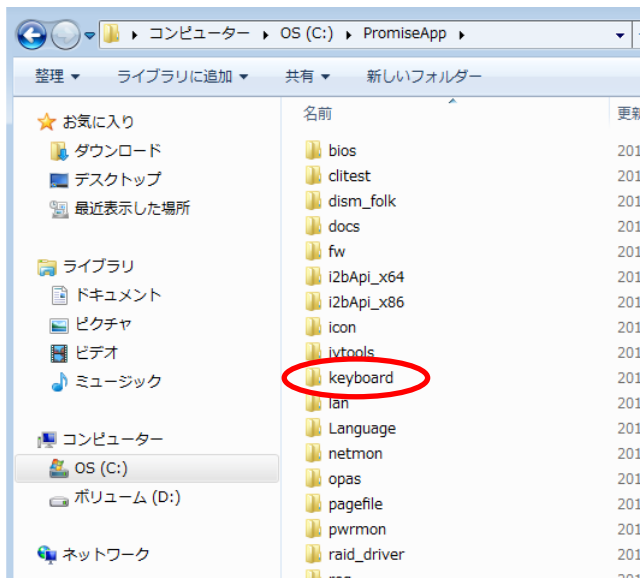
①デスクトップのコンピューターアイコンをダブルクリックします。

②[OS(c:)]をダブルクリックします。

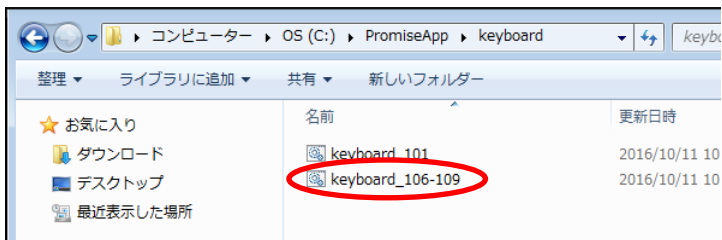
③[PromiseApp]をダブルクリックします。



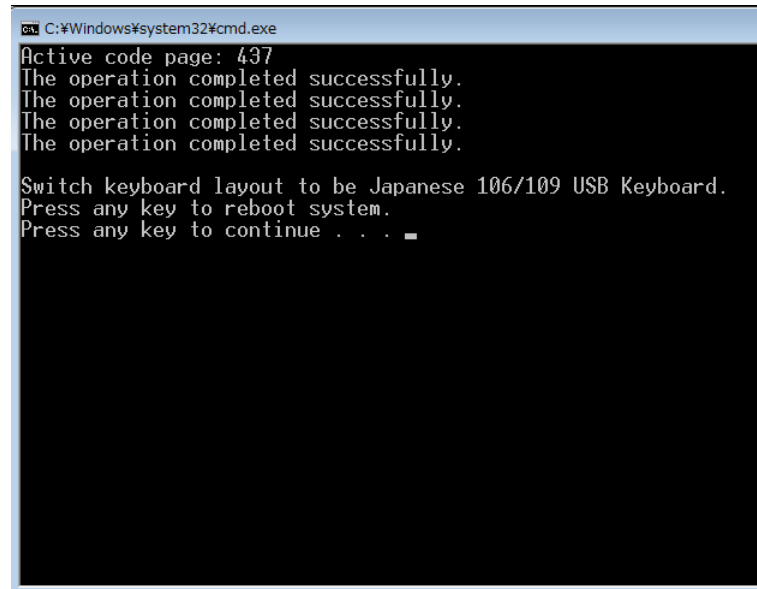
④[keyboard]をダブルクリックします。



⑤“keyboard_106-109.bat”をダブルクリックして実行します。



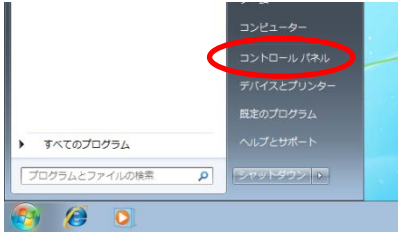
⑥コマンドプロンプトが開きます。何かキーを押すと再起動がかかります。



4-4 ネットワークの設定

接続するLANポート(LAN1/LAN2)の設定を行います。

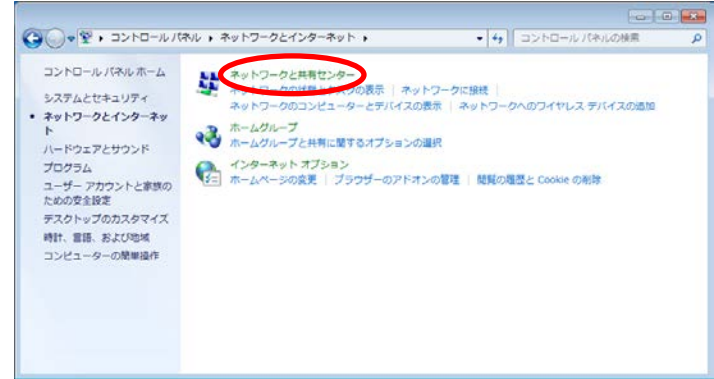
① スタートメニューより「コントロールパネル」を開きます。



② コントロールパネルの「ネットワークとインターネット」をクリックします。



③ 「ネットワークと共有センター」をクリックします。



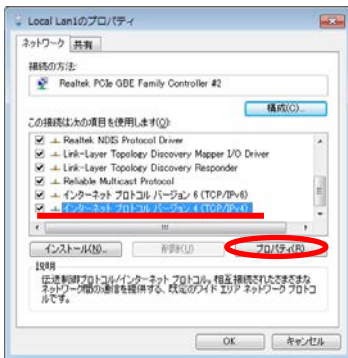
④ 「アダプター設定の変更」をクリックします。



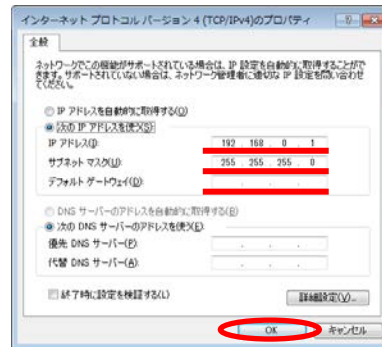
⑤設定するLANポートの上で右クリックしプロパティを表示します。



⑥インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)を選びプロパティをクリックします。



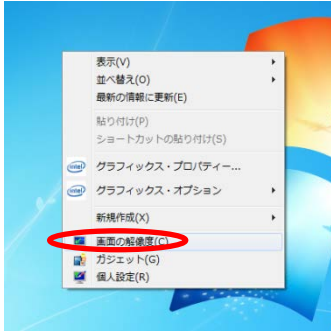
⑦「次のIPアドレスを使う」のチェックボックスを選び、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等を入力し、「OK」をクリックします。



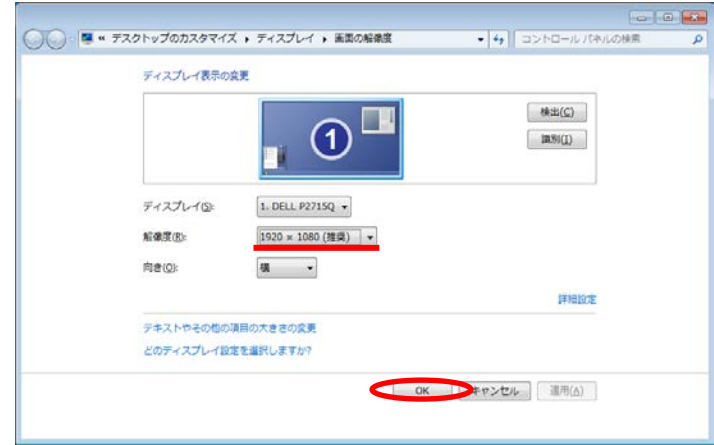
4-5 モニターの設定

通常モニターの設定は自動でWindowsによって行われます。モニターの解像度を変更したい場合やデュアルモニターにしたい場合はWindows上の設定を変更します。

①Windowsのデスクトップで右クリックし、画面の解像度をクリックします。



②「解像度」のプルダウンでディスプレイの解像度を選択し、「OK」をクリックします。



4-6 RAIDボリュームの作成

HDDのRAID設定をします。RAID設定はプリインストールされている“RAID Configuration Tool”で行います。

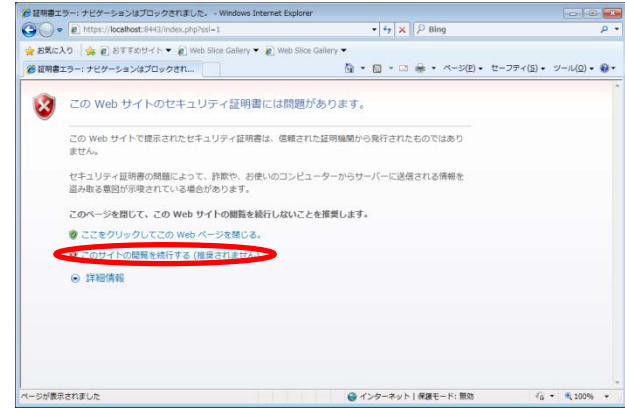
①デスクトップ上の「RAID Configuration Tool」をダブルクリックします。



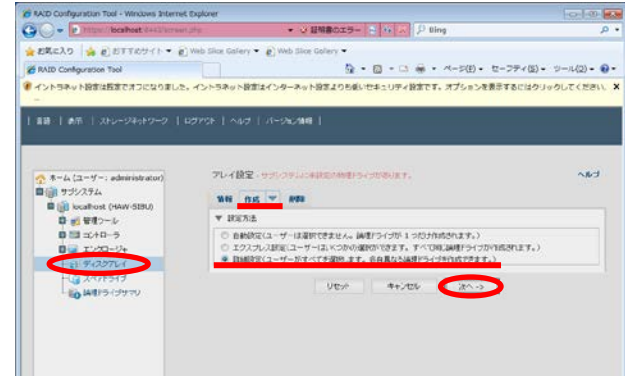
②ログイン画面が開きます。デフォルトは
ユーザー名 administrator
パスワード password
となっています。これを入力しログインします。



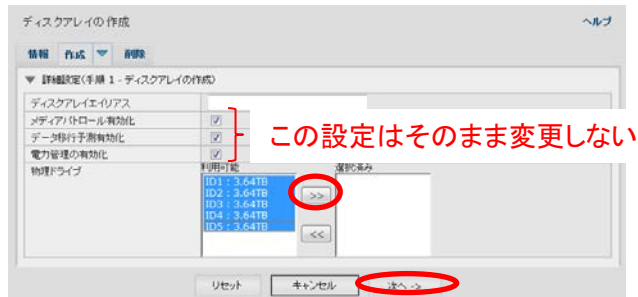
③「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックします。



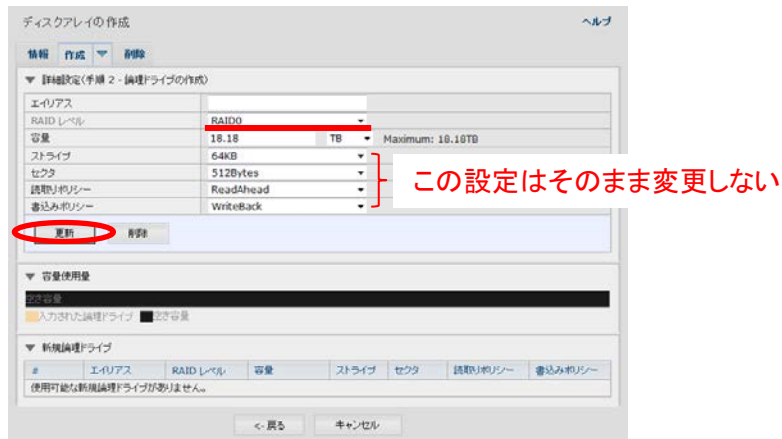
④左側のツリーでディスクアレイを選び、「作成」をクリック。「詳細設定～」を選択し、「次へ」をクリックします。



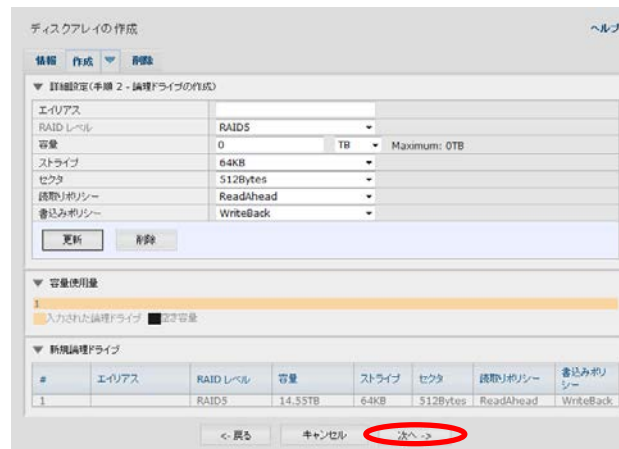
⑤物理ドライブ欄に表示されているHDDを全て選択し、「>>」をクリックします。「次へ」をクリックします。



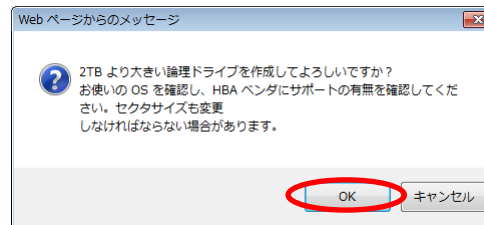
⑥RAIDレベルで設定したいRAIDタイプを選び、「更新」をクリックします。



⑦「次へ」をクリックします。



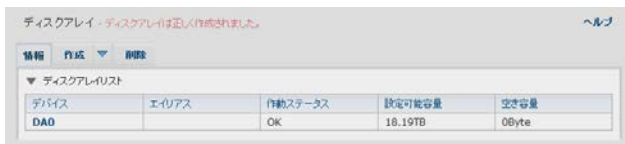
⑧以下のポップアップが表示されます。「OK」をクリックします。



⑨「提出」をクリックします。



⑩ディスクアレイは正しく作成されましたと表示されます。



⑪「ログアウト」をクリックします。

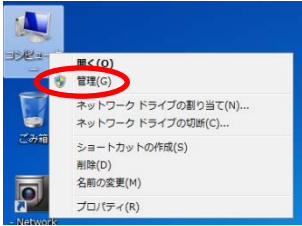


⑫ログインウィンドウが表示されます。WEBブラウザを閉じます。

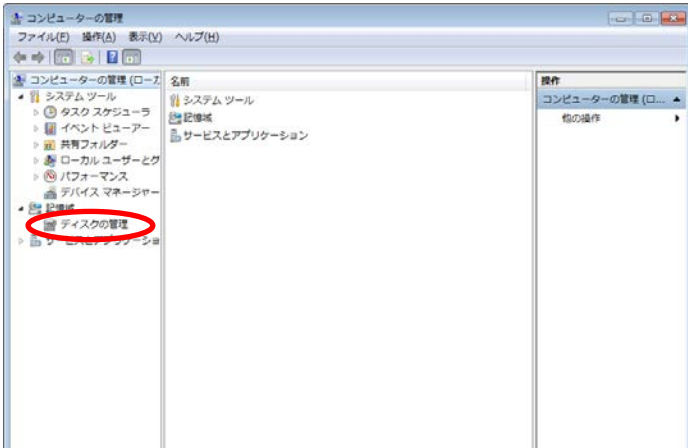
4-7 ファイルシステムの作成

前節で作成したRAIDボリュームをフォーマットします。

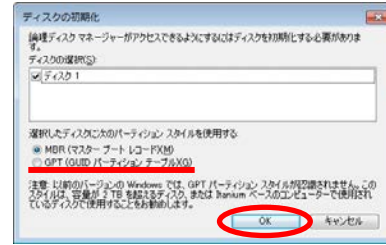
① デスクトップのコンピューターアイコンを右クリックし、「管理」をクリックします。



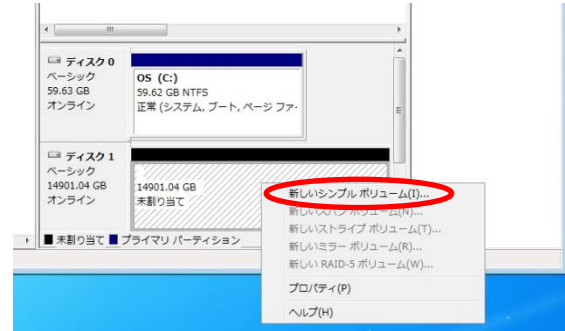
② コンピューターの管理が開きます。「ディスクの管理」をクリックします。



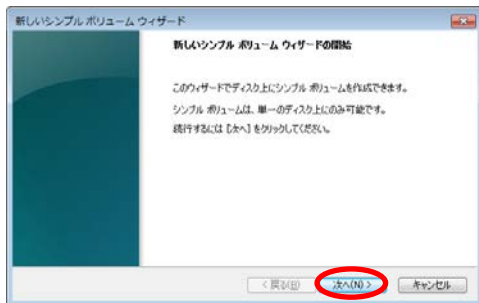
③ ディスクの初期化が開くので、「GPT」を選択し、「OK」をクリックします。



④ ディスク1の未割り当て領域部分を右クリックする。表示されるメニューから「新しいシンプルボリューム」を選択します。



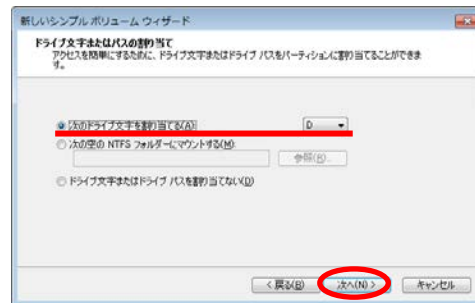
⑤新しいシンプルボリュームウィザードが表示される。「次へ」をクリックします。



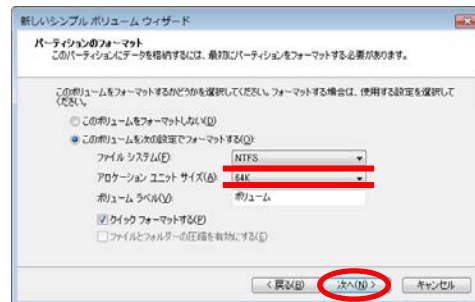
⑥最大サイズになっていることを確認し、「次へ」をクリックします。



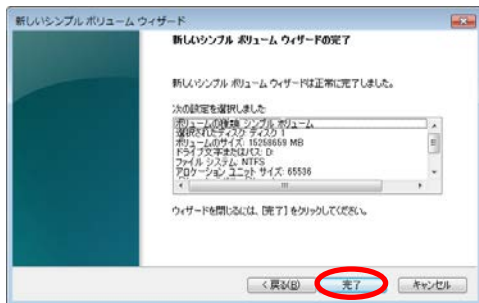
⑦次のドライブ文字を割り当てて、「D」になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。



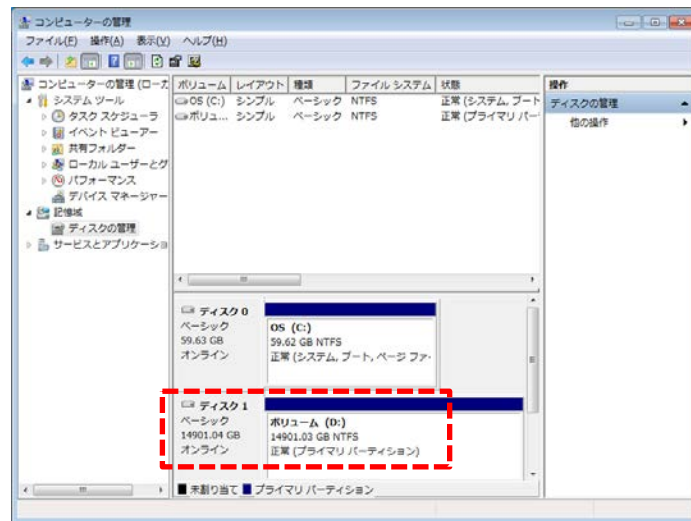
⑧このボリュームを次の設定でフォーマットするにチェックする。ファイルシステムを「NTFS」、アロケーションユニットサイズを「64k」に設定し、「次へ」をクリックします。



⑨「完了」をクリックします。



⑩ディスク1にDドライブが割り当てられたことを確認します。



4-8 言語設定と初期ライセンスファイルの登録

レコーダーのライセンスファイルを登録します。これを行うことが、ライセンスされたカメラ台数を登録することができるようになります。

①USBメモリを用意し、2-1で取得したライセンスファイルをコピーします。

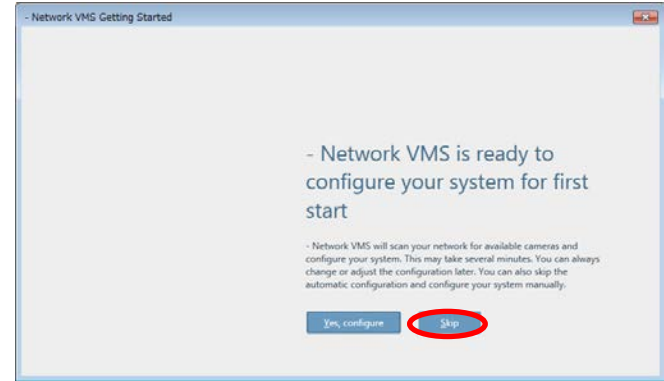
②①のUSBメモリを本機に接続します。USBのどのポートでもかまいません。



③デスクトップ上の「Sony - Network VMS Management Application」をダブルクリックします。



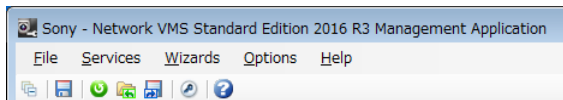
④下記ウィンドウが開きますが、「Skip」をクリックし閉じます。



⑤「OK」をクリックします。※このメッセージは表示されない場合もあります。

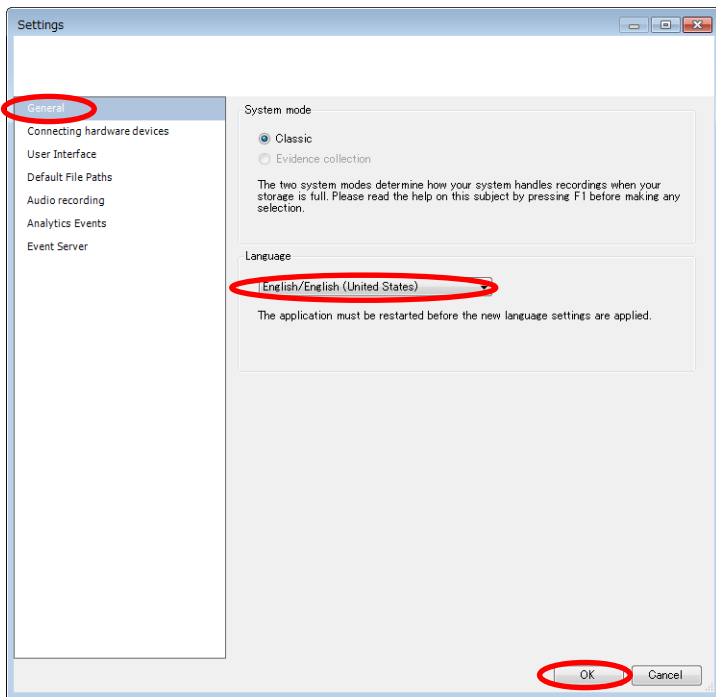


⑥メニューのOptions-Settingsを開きます。

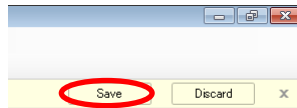


⑦Settingsウィンドウが開きます。Generalを選びます。

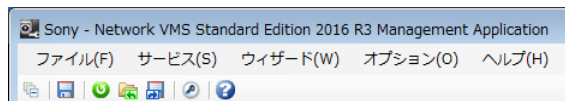
Languageのプルダウンを日本語/Japaneseに変更し、「OK」をクリックします。



⑧ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「Save」をクリックします。

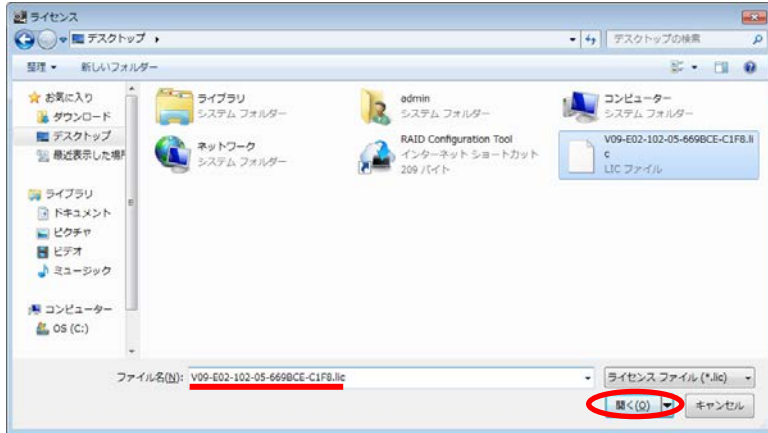


⑨ Sony - Network VMS Management Applicationを一旦終了し、再度起動します。メニューの文字が日本語になっています。以下のポップアップが表示されますが「OK」をクリックし閉じます。



メニューの文字は日本語になっています

⑩メニューの「ファイル」-「ライセンスのインポート」を開きます。②のライセンスファイルを選び、「開く」をクリックします。



⑪下記のポップアップが開く。「OK」をクリックします。



⑫下記のポップアップが開く。「OK」をクリックします。



⑬ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「保存」をクリックします。

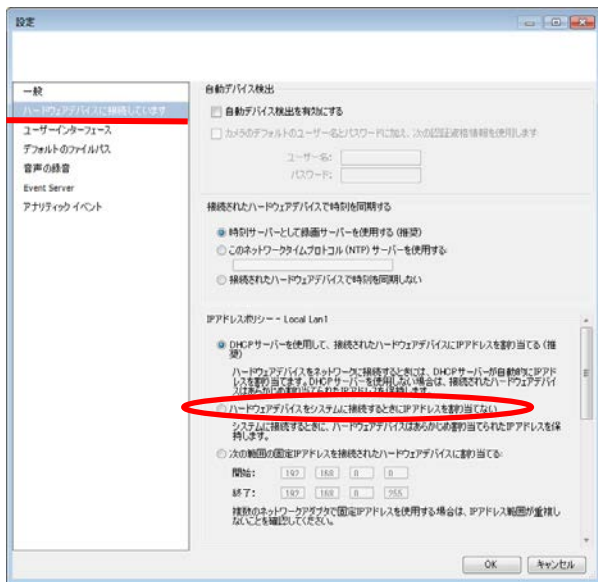


⑭ Sony - Network VMS Management Applicationのライセンス欄で「アクティブ化されているハードウェアデバイスライセンス:」の下にライセンスされたカメラ数が表示されます。

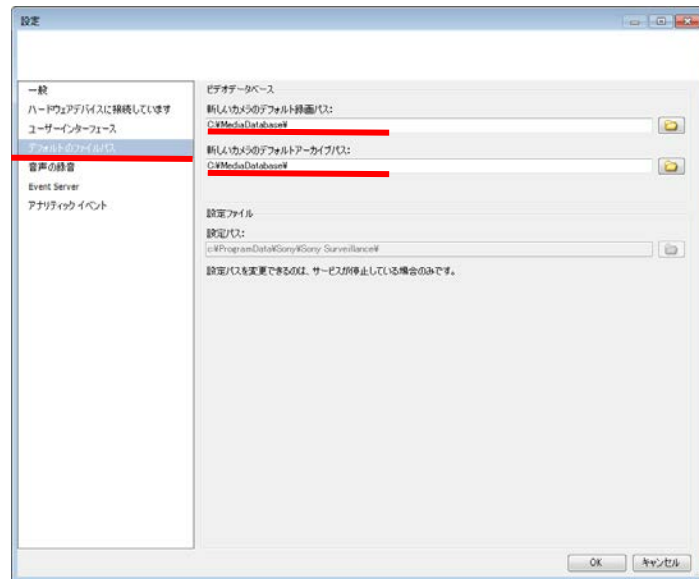


4-9 オプション設定

- ①メニューの「オプション」-「設定」を開きます。
- ②「ハードウェアデバイスに接続しています」を選びます。
IPアドレスポリシー-Local Lan1、IPアドレスポリシー-Local Lan2それぞれの設定値を「ハードウェアデバイスをシステムに接続するときIPアドレスを割り当てない」に変更します。

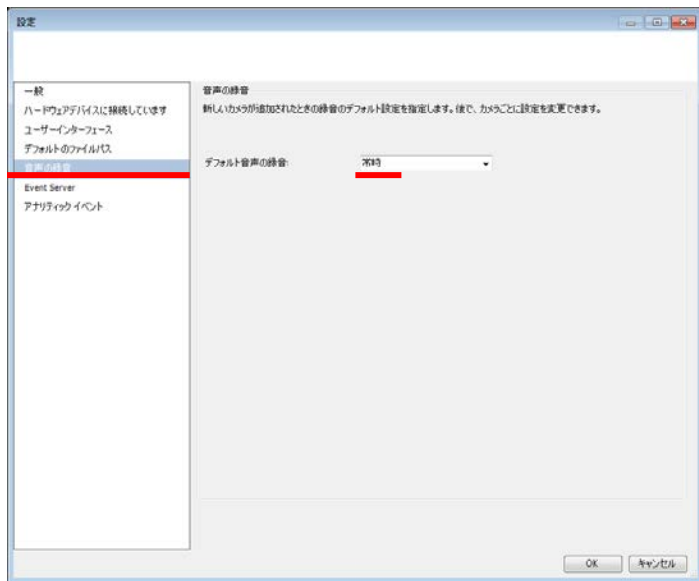


- ③「デフォルトのファイルパス」を選びます。新しいカメラのデフォルト録画パス、新しいカメラのデフォルトアーカイブパスそれぞれの設定値を「D:¥MediaDatabase¥」に変更します。



※2017R2ではこの項目を飛ばしてください。

④「音声の録音」を選びます。デフォルト音声の録音の設定値を「動画を録画するときのみ」に変更します。「OK」をクリックします。



⑤ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「保存」をクリックします。



4-10 Device Pack のアップデート

Device Packとは、ネットワークカメラなどのデバイスのドライバーをまとめたもので、VMSが使用するデータファイルです。ここではDevice Pack のバージョンを確認し、最新版でなければ最新版にアップデートします。

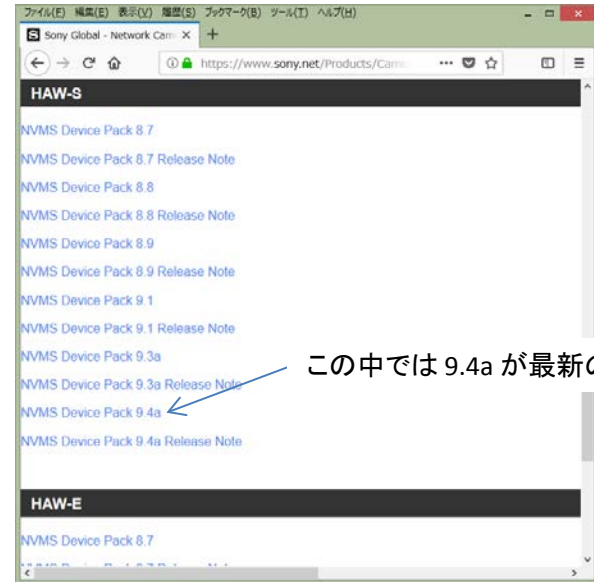
※Device Packインストール後に再起動がかかります。

①メニューの「ヘルプ」-「バージョン情報」を開く。デバイスパックバージョンを確認し、「OK」をクリックします。



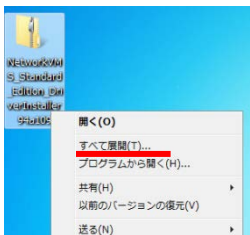
②インターネット環境に接続されたPCから以下のURLを開く。HAW-Sの項目の中にある「Device Pack」をクリックし、レコーダーにインストールされているデバイスパックより新しいものがあれば、最新のデバイスパックをダウンロードする。

<https://www.sony.net/CameraSystem/NVMS/Software>



この中では 9.4a が最新のデバイスパック

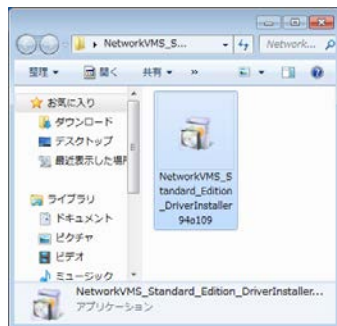
③Sony - Network VMS Management Applicationが起動されていればそれを閉じます。ダウンロードしたデバイスパックをUSBメモリでレコーダーにコピーします。そのファイル上で右クリックし、すべて展開を選びます。



④「展開」をクリックします。

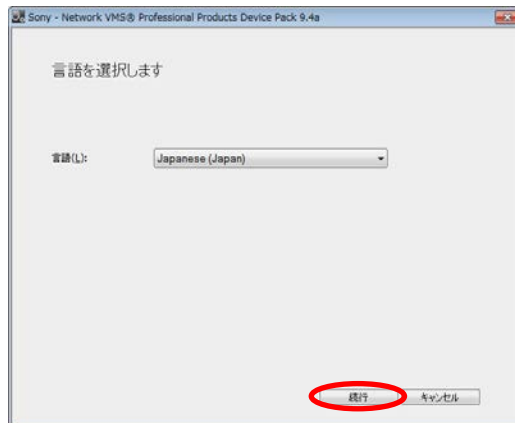


⑤展開されたファイルをダブルクリックし実行します。

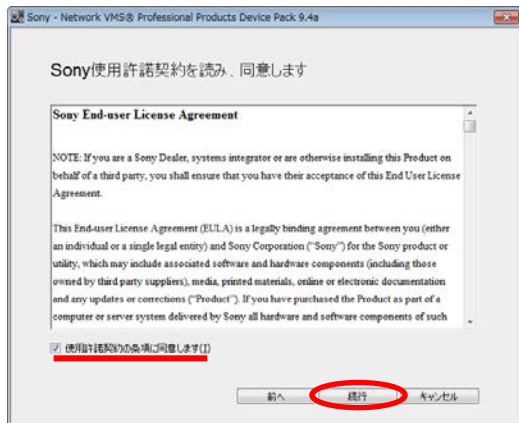


※2017R2では2つのファイルが展開されます。どちらのファイルもダブルクリックし実行します。

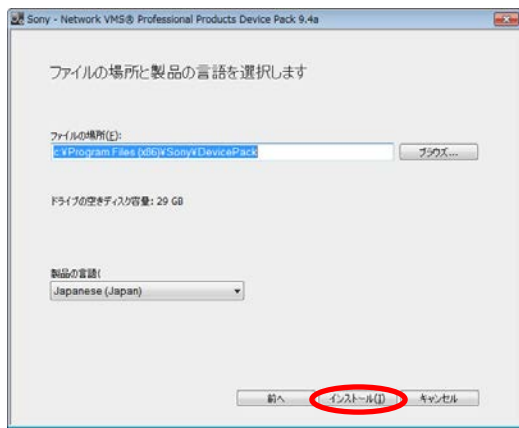
⑥言語の選択画面で「Japanese」を選び、「続行」をクリックします。



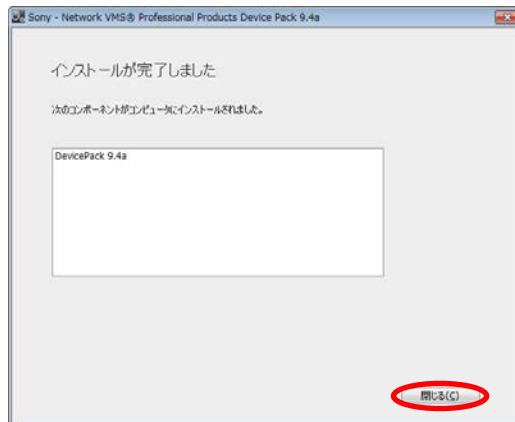
⑦「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックを入れ、「続行」をクリックします。



⑧「インストール」をクリックします。



⑨「閉じる」をクリックします。

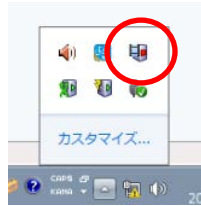


4-11 レコーディングサーバーの開始

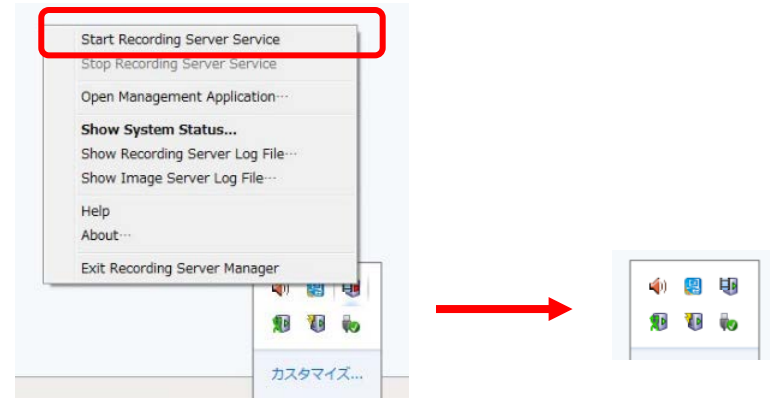
①タスクバーの中にある「▲」(矢印)ボタンをクリックします。すべてのシステムアイコンが表示されます。



②レコーディングサーバーのアイコンを右クリックします。



③表示されたメニューの[Start Recording Server Service]をクリックします。アイコンが緑になります。



4-12 カメラ登録(自動登録)

レコーダーにカメラを登録します。事前にカメラをネットワークに接続し、IPアドレスを設定しておきます。このレコーダーにカメラにIPアドレスを設定する機能はありません。カメラのIPアドレスの設定については、各メーカーの取扱説明書をご覧ください。ソニー製カメラのIPアドレス設定には、「SNC toolbox」をお使いください。以下のサイトよりダウンロードができます。

【ユーザーガイド】

<http://www.sony.jp/professional/support/manual.html>

【SNC toolbox本体】

http://www.sony.jp/snc/download/service/snc_toolbox.html

以下の手順では、すでにカメラのIPアドレスが設定され、カメラがネットワーク上で動作しているものとして説明します。

①デスクトップ上の「Sony - Network VMS Management Application」を起動し、「使用開始」を選択します。次に「ハードウェアの追加」をクリックします。



②「ハードウェアのスキャン」をクリックします。

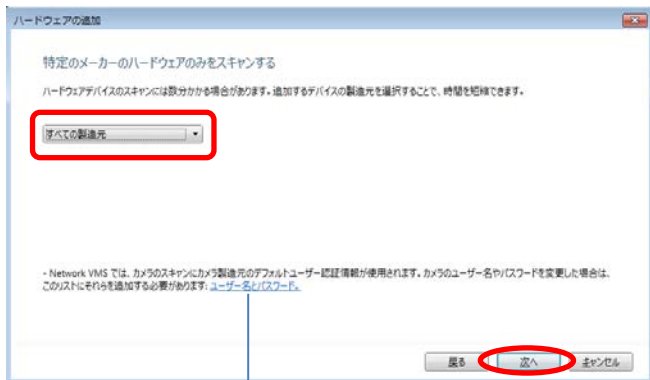


③「ローカルネットワークのスキャン」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

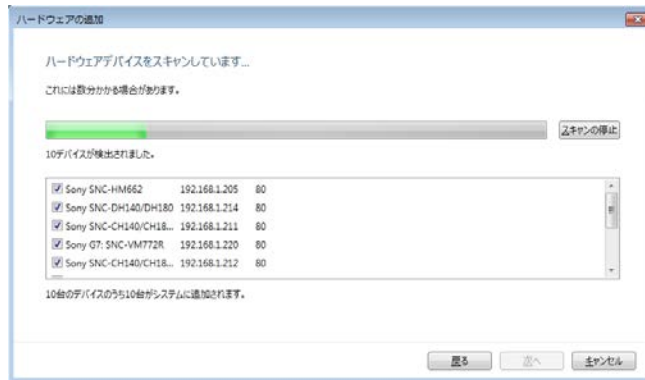


時間がかかる場合があります

④登録するカメラメーカーが1社の場合には、「すべての製造元」ではなく、該当するメーカーを選択すると、スキャンが早くなります。「次へ」をクリックします。

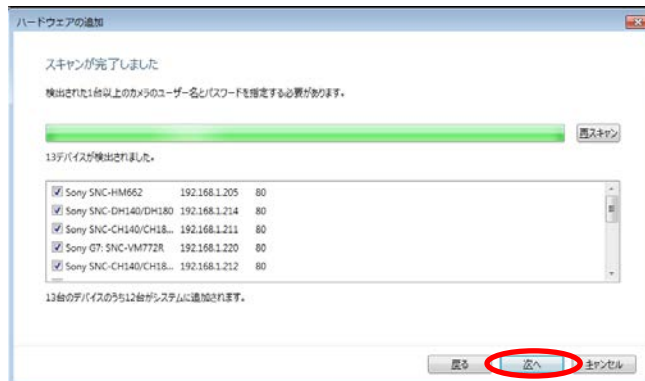


※カメラの設定時にデフォルトユーザーのパスワードを変更している場合には、こちらから設定してください。



ハードウェアのスキャンが始まります。

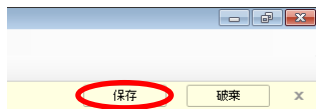
⑤ハードウェアのスキャンが完了したら、「次へ」をクリックします。



⑥カメラが登録されました。「OK」をクリックします。



⑦ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「保存」をクリックします。



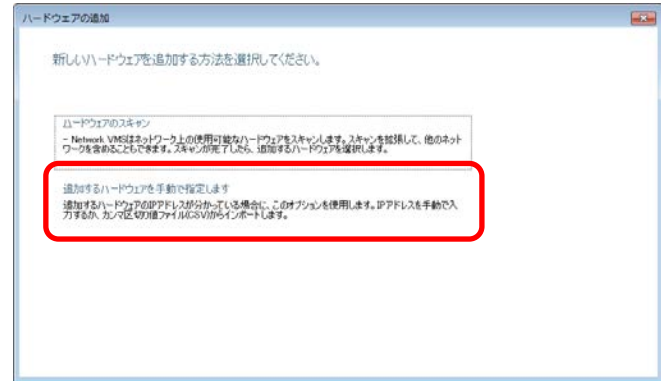
4-13 カメラ登録(手動登録)

レコーダーにカメラを登録する際、カメラを検索する自動登録ではカメラの認識に失敗することがあります。その場合は失敗したカメラのみ手動で登録を行ってください。

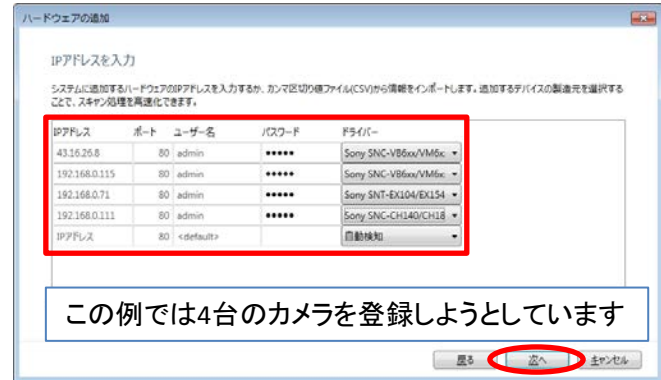
①デスクトップ上の「Sony - Network VMS Management Application」を起動し、「使用開始」を選択します。次に「ハードウェアの追加」をクリックします。



②「追加するハードウェアを手動で指定します」をクリックします。



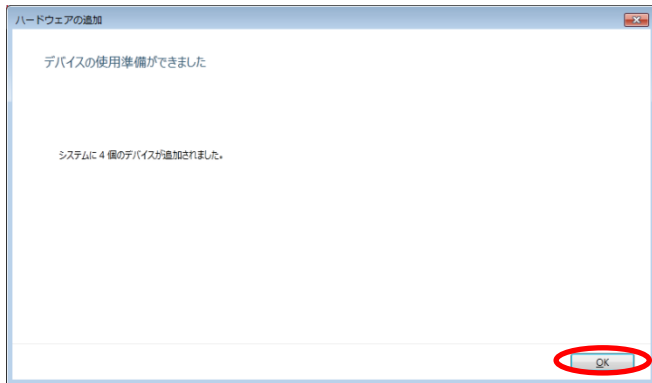
③登録するカメラのIPアドレス、管理者ユーザー名、管理者パスワードを入力し、ドライバーに登録するカメラ機種種のドライバーを選択します。「次へ」をクリックします。



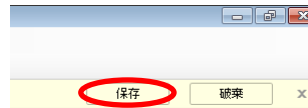
④ステータスが接続済みになります。「次へ」をクリックします。



⑤「OK」をクリックします。



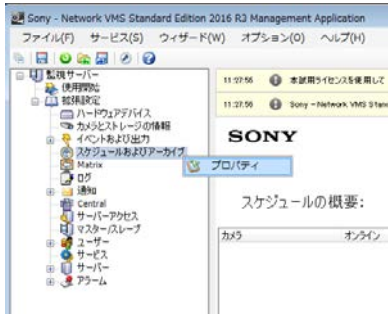
⑥ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「保存」をクリックします。



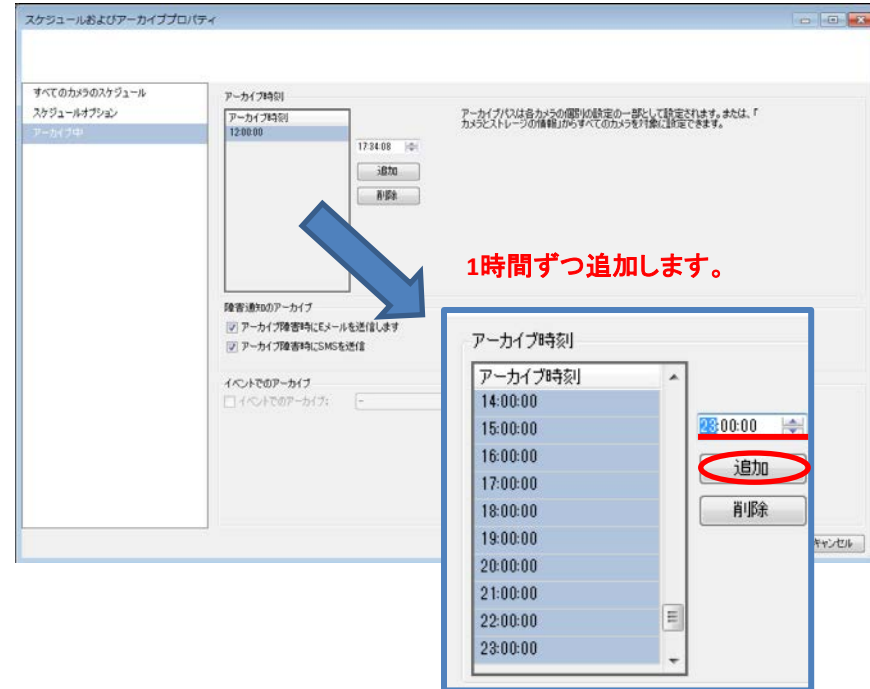
4-14 アーカイブへの移動間隔設定

NVMSでは、録画される領域が1次の録画領域と2次のアーカイブ領域に分かれています。一定間隔で自動的に1次から2次へデータを移動します。その間隔を設定します。ソニーでは、1時間間隔を推奨しています。

①[スケジュールおよびアーカイブ]の右クリックで表示される[プロパティ]をクリックします。



②[アーカイブ中]を選びます。アーカイブ時刻に「00:00:00」～「23:00:00」を追加します。デフォルトの「12:00:00」を除き、23回追加操作をします。追加した後、「OK」をクリックします。



③ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「保存」をクリックします。

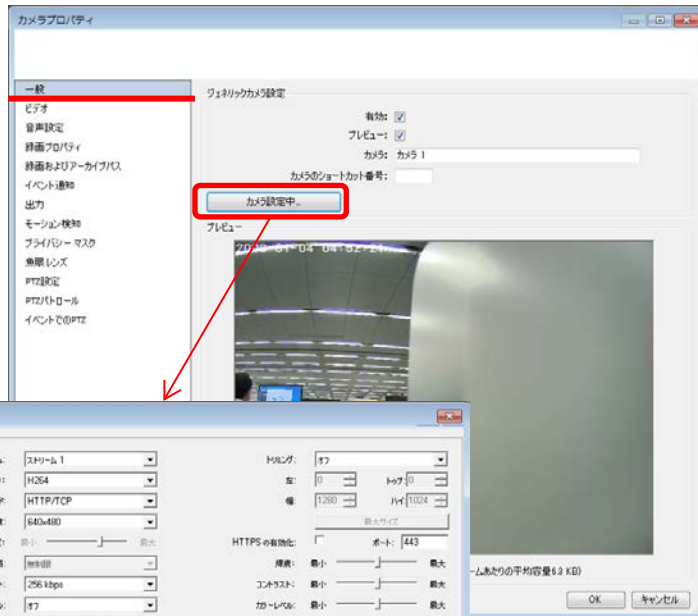
4-15 カメラ毎の詳細設定

カメラ1台毎にカメラ名称や録画設定・録画保存期間などの各種設定を行います。

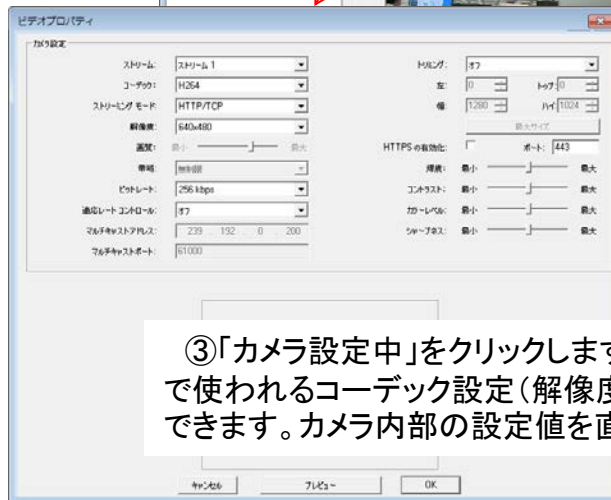
①[拡張設定]－[ハードウェアデバイス]の下に登録されたカメラ(ハードウェアデバイス)があります。設定を行うカメラの上で右クリックで表示される[プロパティ]をクリックします。



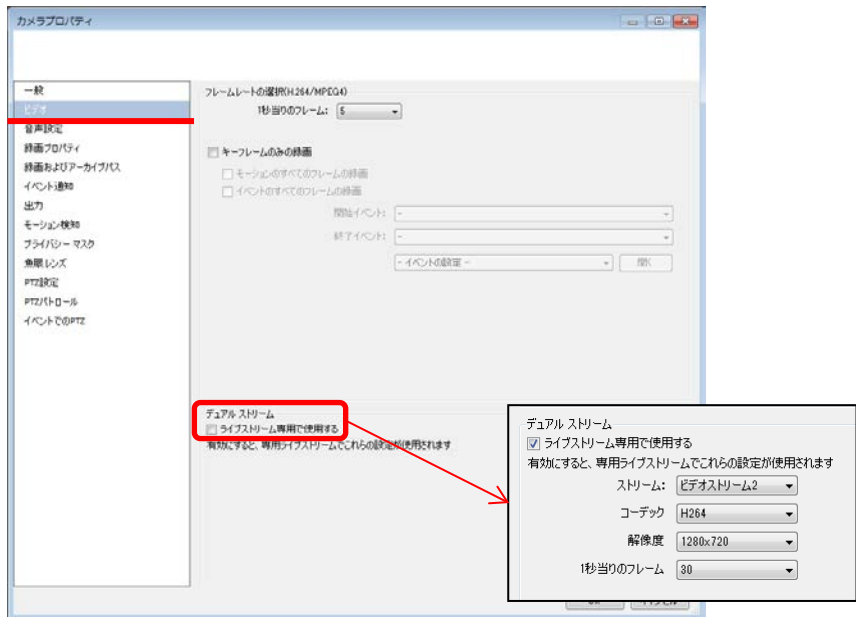
②「一般」を選びます。カメラ欄にカメラ名称を入力します。



③「カメラ設定中」をクリックします。録画・モニタリングで使われるコーデック設定(解像度、ビットレート等)ができます。カメラ内部の設定値を直接変更します。

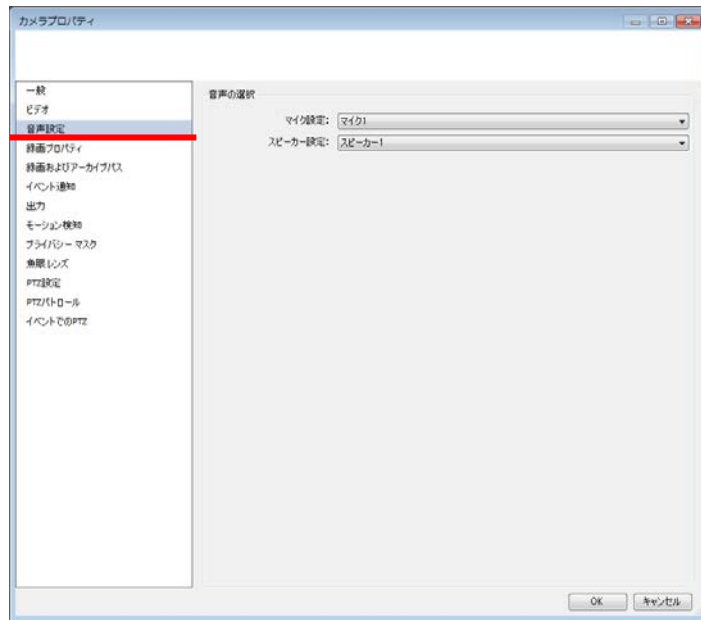


④「ビデオ」を選びます。録画・モニタリングのフレームレートはここで設定します。

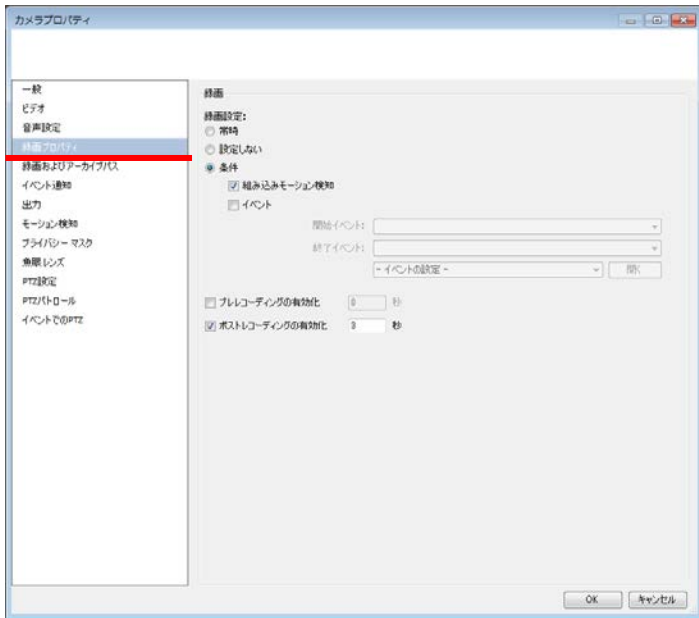


⑤デュアルコーデック設定: 録画とモニタリングのコーデックを別々に設定する場合は、ここをチェックします。ここで設定するものがライブモニタリングで使われるコーデックとなります。

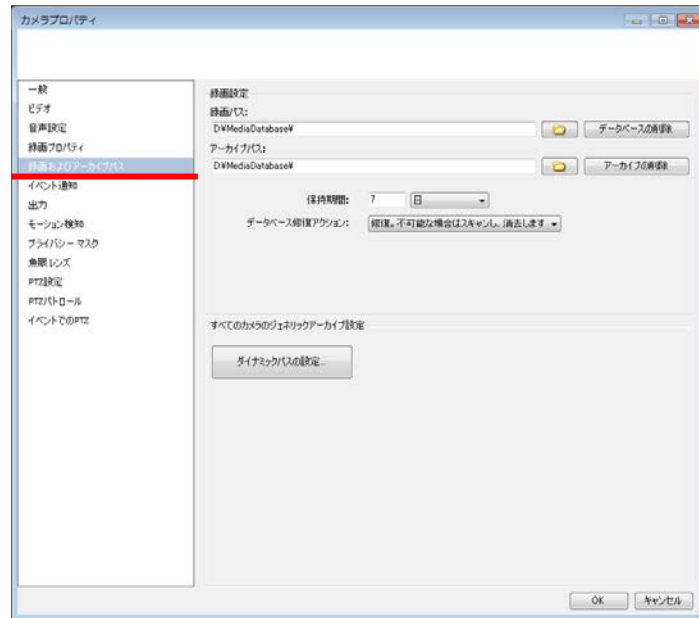
⑥「音声設定」を選びます(音声入出力の無いカメラは項目がありません)。マイク入力の録音やカメラへの音声送出行う場合はここを設定します。音声入出力のあるカメラで録音や送出行わない場合、<NONE>を選んでください



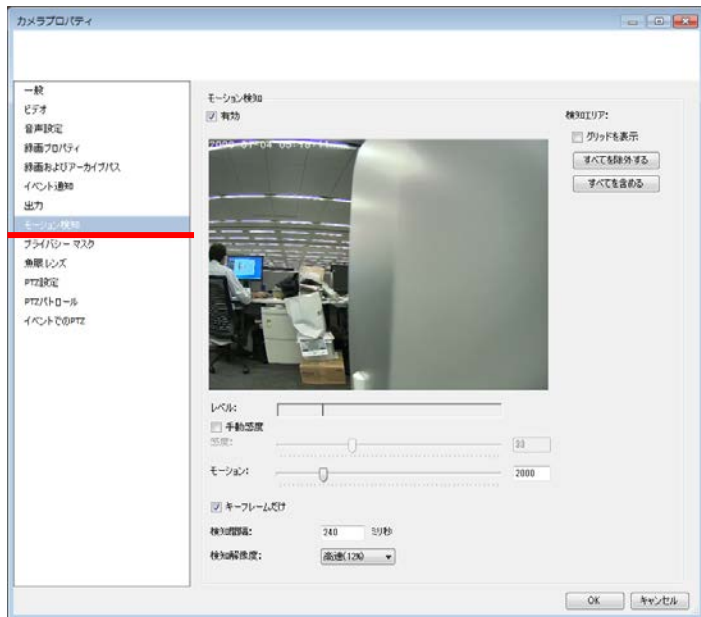
⑦「録画プロパティ」を選びます。録画種別はここで設定します。次の3つから選択します。常時録画、設定しない：録画しない、条件。組み込みモーション検知はレコーダー側でのソフトウェア動体検知です。カメラ側動体検知やカメラの接点入力での録画を行う場合は、イベントをチェックし、開始イベント・終了イベントを選択して下さい。



⑧「録画およびアーカイブパス」を選びます。保持期間の設定がこのカメラの録画データの保管日数となります。録画パス、アーカイブパスを移動する場合はここで設定します。

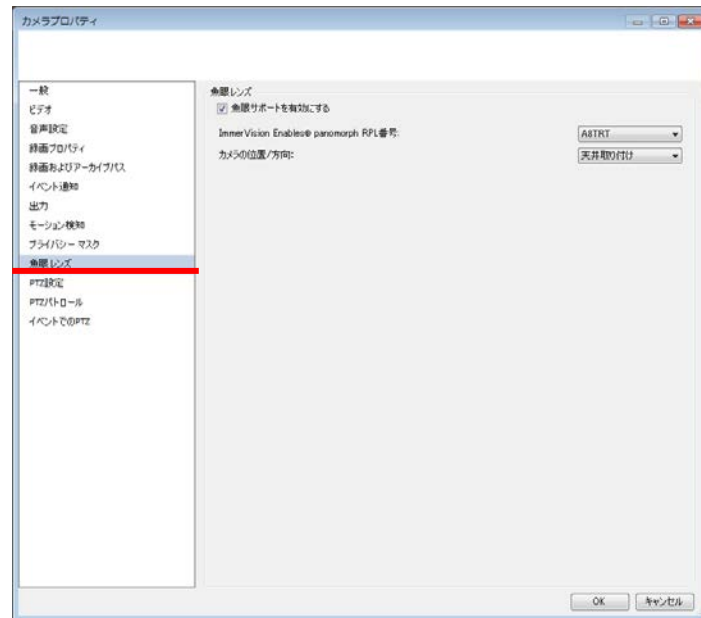


⑨全てのカメラ映像はデフォルトでレコーダー内でモーション検知されます。常時録画で運用され、モーション検知自体を使わない場合は有効のチェックボックスをオフにしてください。モーション検知機能を使う場合は、検知エリアを調整します。



※検知エリアの設定:デフォルトは全領域が検知対象となっています。画面をドラッグすることで検知対象外(除外エリア)に設定できます。

⑩カメラ機種が360度全方位カメラ SNC-HM662 の場合は、「魚眼レンズ」を選び、「魚眼サポートを有効にする」にチェックを入れ、ImmerVision Enables Panamorph RPL番号を「A8TRT」としてください。



4-16 新規ユーザーの作成

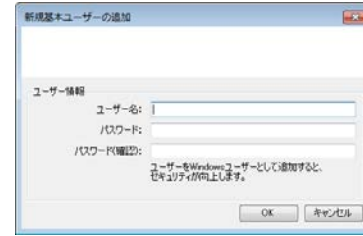
HAW-SIBUのユーザーにはWindowsユーザーと基本ユーザーの2種類があります。Windowsユーザーは文字通りWindows OSで作成・管理されるユーザーです。基本ユーザーはHAW-SIBUの録画ソフトウェア上で作成・管理されるユーザーです。デフォルトではWindows OSの管理者ユーザーグループに録画ソフトウェアの全ての権限が与えられています。

実際の運用においては、モニタリングや再生などの通常操作を行うユーザーと設定変更などを行う管理者は別々のアカウントを用意するのが普通です。ここでは設定変更などの権限を落とした一般ユーザーを作成します。

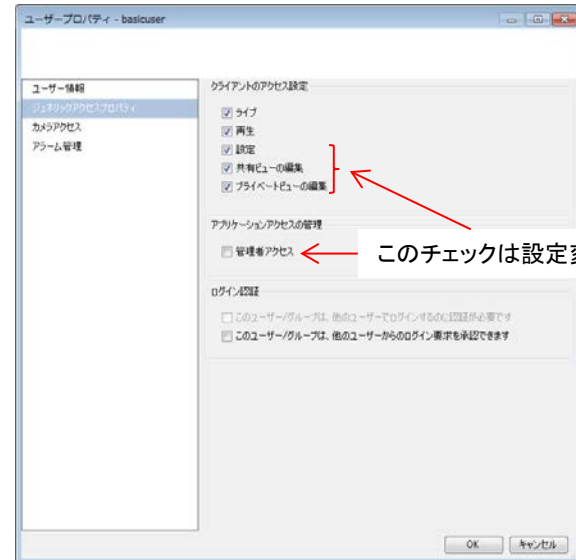
①[拡張設定]－[ユーザー]を展開すると、Administratorsという名称のユーザーアカウントがあります。[ユーザー]の上で右クリックし[新規基本ユーザーの追加]を選びます。



②新規基本ユーザーの追加ウィンドウで、ユーザー名とパスワードを入力します。

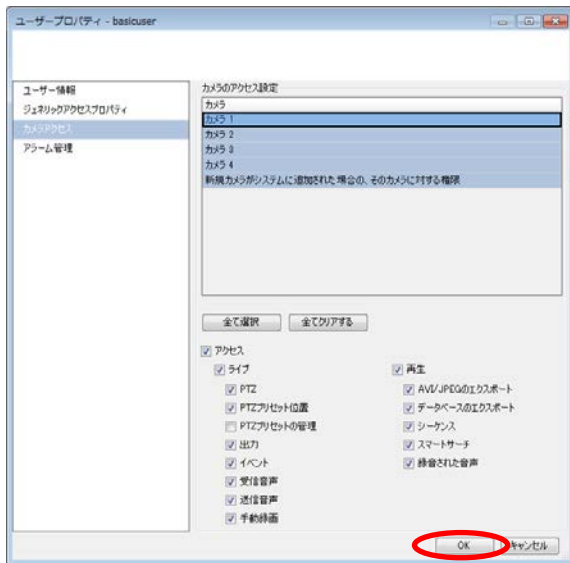


③ユーザープロパティウィンドウが開きます。[ジェネリックアクセスプロパティ]で操作権限を設定します。



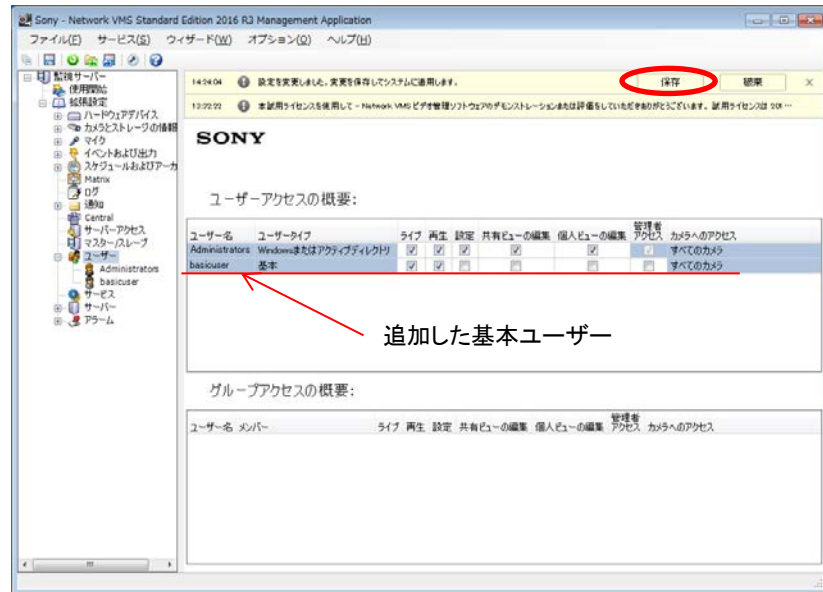
このチェックは設定変更権限なので外す

④ [カメラアクセス]でカメラ毎の操作権限を設定します。



⑤「OK」をクリックします。

⑥「保存」をクリックします。

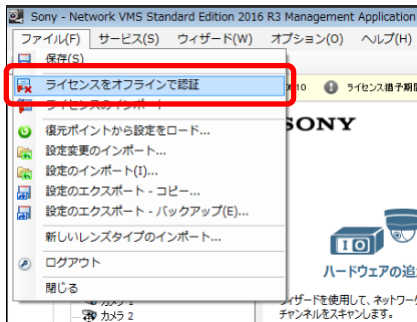


※複数同一権限のユーザーを作成する際には、新規ユーザーグループを作成しユーザーグループに権限を設定するのが簡単です。

4-17 アクティベーション

カメラの新規登録(追加登録)を行った後、ライセンスをアクティベーションしていただく必要があります。この作業をしないと30日経過後に登録したカメラは使用できなくなります。ライセンスのアクティベーションは、Webブラウザからソニーのライセンスサイト:eCSiteにアクセスしていただく必要があります。

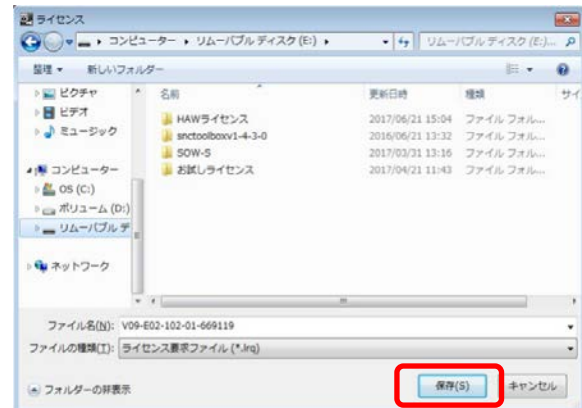
- ①USBメモリをHAW-SIBUに接続します。
- ②「Sony - Network VMS Management Application」を起動します。
- ③[ファイル]－[ライセンスをオフラインで認証]をクリックします。



- ④「ライセンス」ウィンドウが開きます。「エクスポート」をクリックします。



- ⑤ファイルの保存先にUSBメモリを選択し、「保存」をクリックします。保存されたら、USBメモリを取り出します。

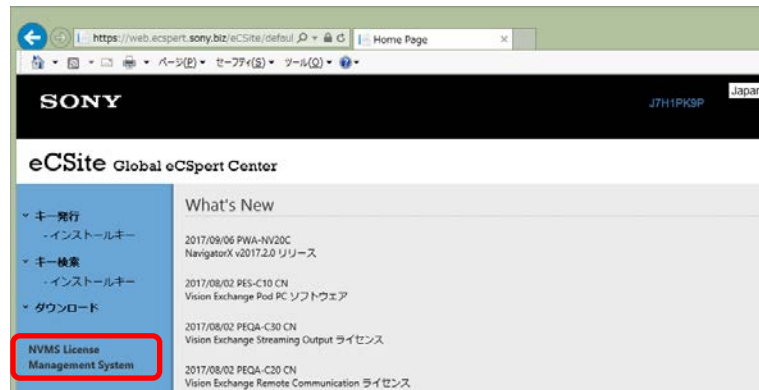


- ⑥USBメモリをインターネット接続されたPCに接続します。
⑦Internet Explorer等WEBブラウザで eCsite にログイン
します。初めての場合はユーザー登録を行います。

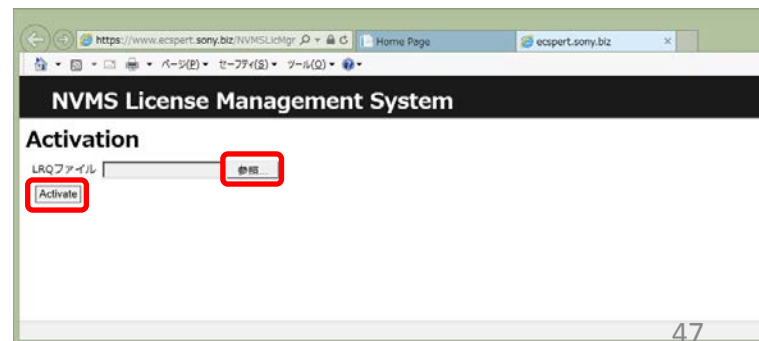
<https://web.ecspert.sony.biz/>



- ⑧eCsiteにログインしたら、「NVMS License Management System」をクリックします。



- ⑨以下のページが開きます。「参照」をクリックし、USBメモリから⑤で保存したファイルを選択します。次に、「Activate」をクリックします。



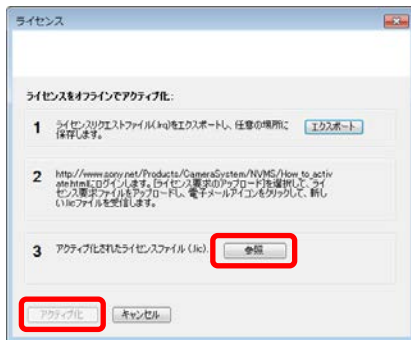
⑩「Activateを行いますか?」で「OK」をクリックします。ライセンスファイルを開くか保存するかを選択する場面では、「保存」をクリックします。



⑪保存したライセンスファイルをUSBメモリにコピーします。USBメモリを取り出します。

⑫USBメモリをHAW-SまたはSOW-SがインストールされたPCに接続します。

⑬「ライセンス」ウィンドウの「参照」をクリックし、⑪でコピーしたライセンスファイルを選択します。次に、「アクティビ化」をクリックします。



⑭「Sony - Network VMS Management Application」の左側ツリーで「ハードウェアデバイス」を選びます。登録したカメラ名の右隣のライセンス欄で全てのカメラが「ライセンスあり」になっていることを確認します。



「使用開始」をクリックします。以下の画面でアクティベートされたカメラ数を確認することができます。



認証されたカメラ(ハードウェアデバイス)の数
[使用可能台数]のうち[認証された台数]

SUPライセンスの有効期限

4-18 Smart Clientのビュー作成

Smart Clientでビュー(レイアウト)を作成します。ビューは分割画面の中にカメラなどをはめ込んだものです。ビューはクライアント側ではなく、HAW-SIBU本体の中に保存されますので、どのクライアントからでも作成したビューを呼び出すことができます。


※Smart Clientの詳細設定に関しては、Smart Clientのユーザーマニュアルをご参照ください。

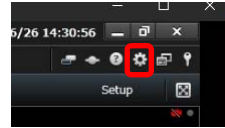
①デスクトップの「Smart Client」アイコンをダブルクリックします。




②「Connect」をクリックし、Smart Clientにログインします。

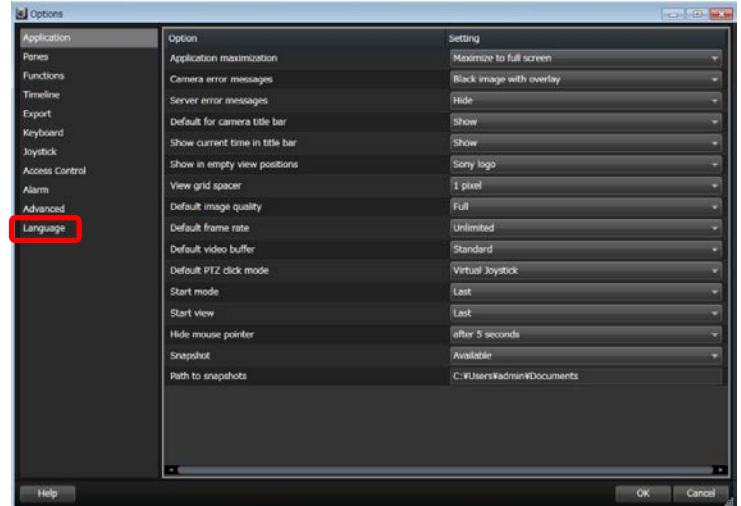


③Smart Clientを日本語化します。
Smart Clientの右上にある「」をクリックします。
「Options」が表示されます。

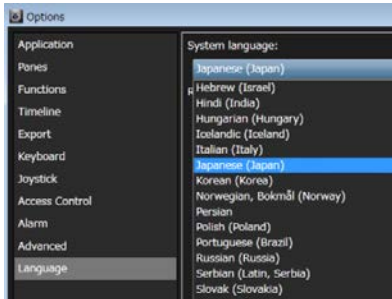


※左のようにボタンが少ない場合は先に「」をクリックします。

④左メニューの「Language」をクリックします。



⑤“System language: “で ”Japanese (Japan)”を選択します。右下「OK」をクリックします。



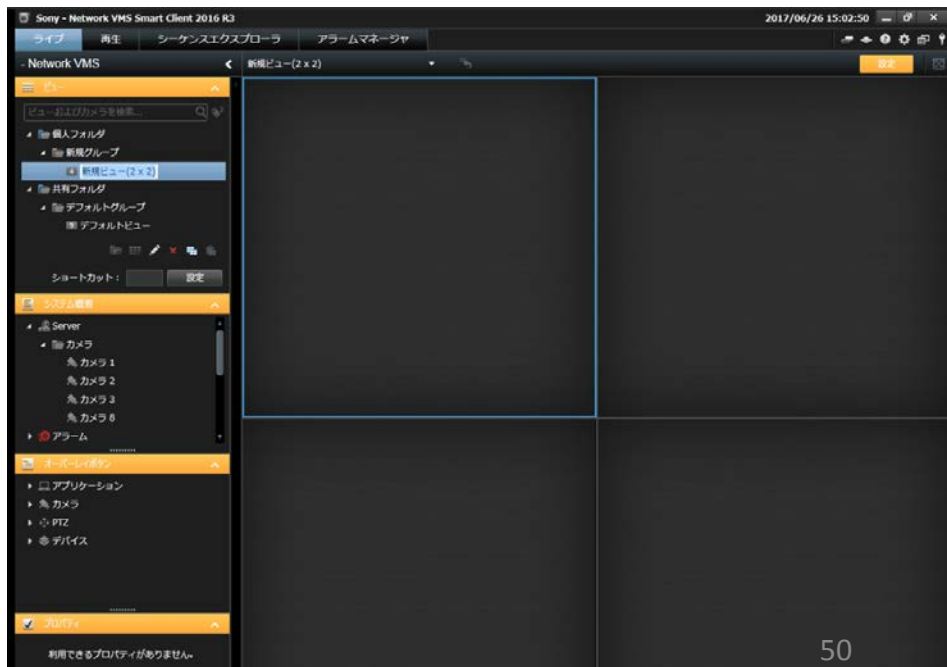
⑥Smart Clientを再起動してください。
「×」でSmart Client終了後、Smart Clientを再起動してください。メニューが日本語化されたことを確認してください。



⑦右上の「設定」をクリックします。
設定モードに移行します。



設定モード中は「設定」ボタンなどがオレンジ色になります。

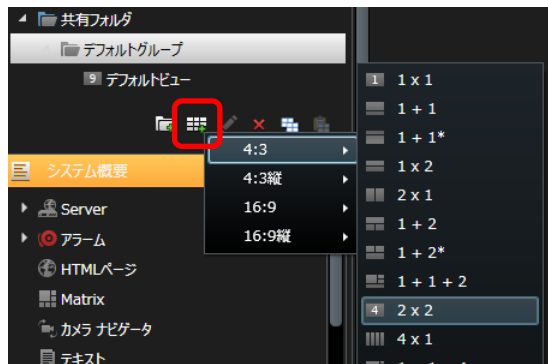


⑧左メニューの「ビュー」の「共有フォルダ」-「デフォルトグループ」をクリックします。

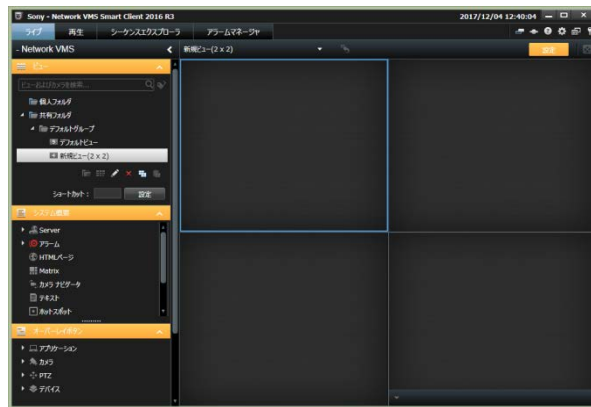
※個人フォルダ下のビューは自分自身のみが見え・使えるものです。ユーザー間で共有するビューは共有フォルダ下にビューを作成します。



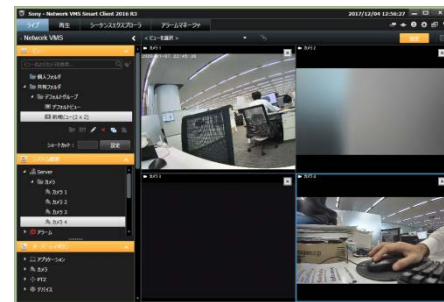
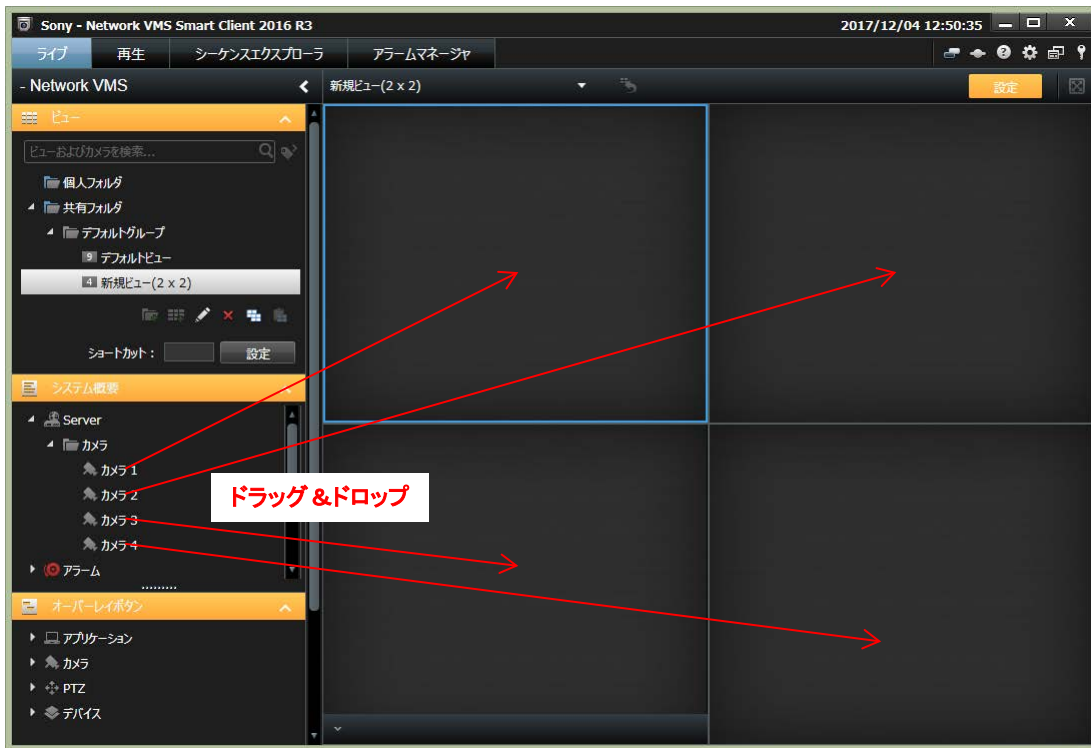
⑨ここでは、2×2のビューを作成します。「新規ビューを作成」をクリックします。4:3 > 2×2の順に選択します。



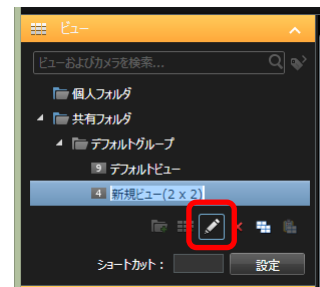
⑩2×2の新しいビューが作成されました。



- ⑪カメラをビューに割り付けます。
「システム概要」の[Server]－[カメラ]を展開します。
カメラ名をドラッグアンドドロップで画面枠に貼り付けるとビューに映像が表示されます。



- ⑫「名前の変更」をクリックしビューに名前を付けます。



- ⑬右上の「設定」をクリックして、設定モードを抜けます。

5. クライアントとの接続

5-1 外部のSmart Clientからのモニタリング

①Smart Clientのインストーラーを入手、インストール実行
クライアントをインストールするPC上でWebブラウザを起動しURL
入力欄にHAW-SIBUのIPアドレスのIPアドレスを入力します。
右の画面が開きます。HAW-SIBUのバージョンと同じクライアント
ソフトをダウンロードしてください。

32bit版のOSをお使いの場合は以下のサイトより、お使いの
HAW-SIBUのバージョンに対応した32bitクライアントソフトウェア
をダウンロードして下さい。

<https://www.sony.net/Products/CameraSystem/NVMS/software/index.html#HAW-S>

ダウンロードしたインストーラーを実行します。

②Smart Clientを実行する。

③「コンピュータ:」にHAW-SIBUのIPアドレスを入力する。

「認証:」には、ログインするユーザーが基本ユーザーの場合
はBasic Authenticationを、Windowsユーザーの場合はWindows
Authenticationを入力する。

「ユーザー名:」「パスワード:」にログインするユーザー名・パ
スワードを入力する。

④「接続」をクリックする。

※接続後に呼び出されるビューはデフォルトでは前回ログアウト
した際に表示していたビューです。

